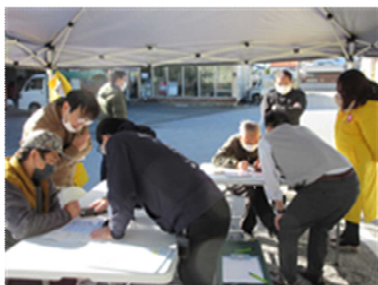


普及活動情勢報告（令和4年12月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

SAWACHIの利用サポートを実施



利用申込のサポートを行う
普及指導員

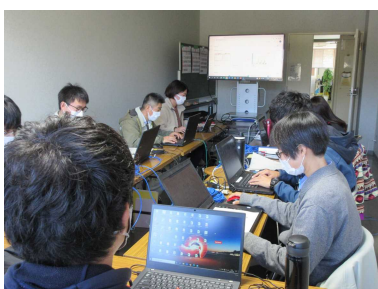
12月19日、JA高知県香美地区購買課店舗（野市と土佐山田の2箇所）前で、SAWACHIサポート会を行い、生産者7名が参加しました。

農業改良普及課は、JA、ドコモショップと連携して、参加者のSAWACHI利用申込や操作についてサポートを行いました。

生産者からは、「営農気象情報が魅力、市況情報があると便利」「やっこねぎの出荷量をみたい」などの声がありました。

今後も、関係機関と連携し、I o Pクラウド登録者数拡大と利用促進に向けて、勉強会やサポート会を開催します。

BIツール勉強会を開催しました！



勉強会の様子

12月8日、効率的なデータ駆動型農業の推進のために、振興センター内の品目担当を対象にBIツールの勉強会を開催しました。

シシトウ、ピーマン担当を講師とし、BIツールやニラ担当が作成した、農家へのお返しシートの使い方について勉強しました。

勉強会では、ハウス内の温湿度変化や今後の栽培管理への助言等が記されたお返しシートに各品目でアレンジを加え、巡回時の指導に活用することとしました。また、各品目におけるデータ駆動型農業の取り組み内容を情報共有し、今後のBIツール活用に向けたヒントを得ることができました。

農業改良普及課は、今後も新たな情報について品目間での情報共有を行い、データ駆動型農業を推進します。

集落ビジョンの改訂に向けて ～（農）ファーム西永野でワークショップ開催～



出された意見を発表する
普及指導員

11月29日、香美市永野コミュニティーセンターにおいて、集落ビジョンの見直しのためのワークショップを開催し、（農）ファーム西永野の組合員9人が参加しました。

最初に【法人が設立されてよかったこと】をテーマに話し合い、「耕作放棄地が少なくなった」「人を雇うことができた」といった意見が出されました。次に【今後の課題や問題点とその解決策】について話し合いを行いました。高齢化に伴う人員の確保や、基盤整備後の法面の草刈りなどの課題が出され、組合員と関係機関で共有することができました。

農業改良普及課は、今回出された意見を元に役員会に働きかけ、集落ビジョンの改訂に向けた取り組みを支援していきます。

高知の農産物をよろしくお願いします！！
～青年農業士中央東ブロック協議会PR活動～



青年農業士によるやっこねぎそぐり実演もありました

12月6日、青年農業士中央東ブロック協議会のメンバー8名が大坂中央青果(株)主催の仲卸業者との『青年農業士オンライン産地視察及び意見交換会』に参加し、高知県農産物をPRしました。

農業改良普及課は、PR活動の準備や当日のWEB配信を支援しました。

青年農業士は自身が栽培するやっこねぎやシシトウほ場から、栽培方法やこだわり等を紹介しました。また、仲卸業者と出荷規格や資材高騰について意見交換し、自身が栽培していない品目のことや、消費者の買い求めやすい規格やパッケージについて知ることができました。

農業改良普及課は、今後も青年農業士の活動を支援し、地域のリーダーとなる担い手育成に取り組みます。

南国市や香南市、香美市の農業の魅力発信！ ～「高知暮らしフェア2022」への出席～



移住候補の市町村はどちらですか？

11月23日、「高知暮らしフェア2022」が東京都の東京交通会館で開催されました。

農業改良普及課は、来場者5組5名の就農相談に対応しました。

来場者からは、南国市や香南市、香美市に限らず、高知県下で栽培している主要品目や、農業技術の習得や資金の確保に係る不安や支援制度、高知県内の居住環境や近隣市町村へのアクセスの良さなど、様々な相談がありました。

農業改良普及課では、移住を含めた就農相談に適切に対応できるよう、産地提案書の定期的な見直しを誘導するなど、南国市や香南市、香美市の農業振興に必要な新規就農者の確保・育成に向け、引き続き関係機関と連携した取り組みを行っていきます。

高温期の生産安定に向けて ～やっこねぎ部会青年部勉強会～



収穫作業をする青年部会員

12月13日、JA高知県香美地区やっこねぎ部会青年部10名が集まり、高温期の小ネギ播種技術改善試験ほ場で、収穫調査前の勉強会と収穫作業を行いました。

本試験は農業改良普及課とJAが試験設計し、青年部の活動として昨年から取り組んでいます。発芽促進のための低温吸水処理によって発芽が2日早まり、草丈と茎の太さの違いも見られ、青年部会員からは、外観上、試験区の好成績を実感する声の外、「ちゃんと調査データを比較してみないかん」と慎重な声も聞かれました。

農業改良普及課は、今後、調査結果をとりまとめて青年部会員と共有し、高温期の小ネギ生産安定に向けた支援を進めていきます。